

女性力で滋賀の経済・地域を元気に!

働く女性は滋賀のチカラ

CARAT

カラット

滋賀

2017



巻頭特集

多様なキャリアが変えていく



KKC一般財団法人 近畿健康管理センター
城月祐子さん



グラフィックデザイナー
児玉沙織さん



農業 (NPO 法人百菜劇場)
廣部里美さん



子育て応援カフェ LOCO
宮本麻里さん 桐畑裕子さん

それぞれのライフステージで

活躍する滋賀の女性たち

仕事と家庭の両立の鍵は思いやり!?
働く夫婦対談



働き方の最前線

滋賀を盛り上げる
女性が活躍する企業



女性が選ぶ
活躍の舞台



女性が活きる
雇用環境



再チャレンジ



多彩な働き方



女性リーダー
が変わる

継続就労、管理職そして役員へ

KKC 一般財団法人 近畿健康管理センター 城月祐子 さん



1983年、予防医療への興味から看護師のキャリアを活かしてKKCへ転職しました。健診バスの巡回先によっては早朝出勤や夜遅くなることもありましたが、充実した毎日でした。岐路になったのはやはり妊娠です。

女性は出産を機に離職するのが当たり前の時代でした。現実として、続けたいけれど今まで通りには働けない。上司に相談したと

ころ、仕事の内容を職場内で調整していただきました。私も努力をしようと、保育園へ迎えに行くには定時退社が必須でしたので、課された仕事を時間内にやり遂げるべく常に効率を考えました。この間に学んだ時間の使い方がいまでも日々の業務に生きています。

管理職になってからは、拘束時間を少しでも減らせるよう、無駄な作業の洗い出しと改

善にも努めてきました。KKCへ来る若い人たちが、自分の力を発揮し、より大きなやりがいをもって続けられるような職場づくりに貢献していくことが、私の役割。男女に関わらずこの職場と仕事が好きという想いがあれば道は開けるはず。そのためにも一人ひとりを応援できる「職場のお母さん」でありたいと思います。



経営

Profile

【城月さん】滋賀県大津市出身。1983年にKKCに転職。現在、理事 名古屋事業部長として単身赴任中。

一般財団法人 近畿健康管理センター

滋賀県大津市木下町10-10

077-525-3233

<http://www.zai-kkc.or.jp/>

職員数 512人(男性225人、女性287人)

業種 巡回及び施設による健康診断・検査
健康維持・増進等の普及啓発

○女性活躍推進認定企業(二つ星企業滋賀県27認定第6号)
○2016/8/20に「イクボス宣言」し、滋賀県イクボス宣言企業にエントリー

CARAT 滋賀 2017

働く女性は滋賀のチカラ

巻頭特集 多様なキャリア

女性の視点で見えてきた、農業の新しい可能性

農業(NPO法人百菜劇場)

廣部里美 さん



農業

Profile

【廣部さん】福井県出身。自然と人との共存を目指し、大学では農学を専攻。近江八幡市で不動産販売に携わりながらNPO 法人百菜劇場の運営に理事として関わる。2014年に農家として独立。

NPO法人百菜劇場

滋賀県近江八幡市北之庄町401

0748-32-2820

<http://www.100seeds.net/>

メンバー数 20人(理事5人、会員15人)

活動趣旨 安心・安全な食のネットワークづくり



現在私は、1.5ヘクタールの作付面積でお米を中心に農業をしています。特別農業を目指したわけではなく、小さい頃から好きだったジブリの世界観に影響され、自然と人との共生できる社会に興味を持つようになったのがきっかけです。大学では農学を専攻し、社会に出て初めての仕事は環境共生型の住宅地開発とその販売でした。地域に根ざした暮らしの提案をする中で、景観を構成する農業の重要性を再認識し、農家になることを決めました。私のような小規模農家は既存の流通に乗せ

るやり方では利益を出すのが難しく、これまで、農薬・化学肥料を使わないお米づくりや、贈答用のパッケージ開発など、高付加価値で販売できる方法を模索してきました。商品開発には女性ならではの視点も活かしたと思います。一方で、一人の力ではどうしても出来ることの限界があるため、私のような女性の小規模農家をつくる「滋賀農業女子100人プロジェクト」を有志で立ち上げました。このプロジェクトは女性農家のネットワーク化による発信力の強化や情報の共有で、催事の機会や飲

食店との連携など、それぞれが受けられるチャンスを拡大する狙いがあります。

農業は初期投資など最初のハードルは大きいですが、環境さえあれば誰でも始められる仕事です。子育てと仕事の両立が難しい主婦などの女性が、少しでも働ける時間が出たとき、「農業をしたい」と思えるような社会にするために、小さな農家のつくる大きなネットワークを受け皿とした、誰でも農業に携われる仕組みを作っていきたいと思っています。

家庭と仕事を両立できた、在宅ワークという働き方

グラフィックデザイナー 児玉沙織さん



小さい頃から絵を描くことが好きだったので、高校卒業後の進路は美術系の学校を選びました。加えて、その後の就職も見据え、グラフィックデザインを専攻しました。好きなことを仕事にしたいという思いで就職した印刷会社では、人間関係や仕事にも恵まれ、忙しくも充実した日々を送っていました。一人目の娘を妊娠した際

は、退職して好きなことから離れるのが怖かったこともあり、産休育休を取得し仕事を続けることを決めました。

在宅で仕事を始める大きな契機となったのは、二人目の娘が出来、徐々に仕事と生活の両立が難しくなってきたことでした。子どもとの時間を大事にしたかったことと、その頃には、退職後に在宅でデザインを続ける職場

の先輩の前例も知っていたため、デザインを続けていける希望を持って退職することができました。約一年間は子どもとの時間を作ることに専念し、現在は前職で担当していたデザインの業務を在宅ですることができています。家族との時間も取れて、やりたい仕事を実現できる。収入面での不安定さはありませんが私にとって最高の選択となりました。



デザイン

Profile

【児玉さん】滋賀県彦根市出身。美術系短大卒業後、県内の印刷会社で16年デザインを担当。二人の娘の育児に専念するために退職し、デザインの外注業務を在宅でこなす。

デザイナー

滋賀県犬上郡豊郷町

個人事業主

業種 グラフィックデザイン

が変えていく

- 経営 -

- デザイン -

- 農業 -

- ママ支援 -

女性ならではの着眼点で、新しい価値を生み出す滋賀の輝く女性たち。その最前線で活躍する4つの現場を紹介します。

長浜のお母さんたちのチャレンジを応援したい

子育て応援カフェ LOCO 宮本麻里さん 桐畑裕子さん



私たち二人はそれぞれ、結婚を機に余呉町に移り住みました。余呉での未就園児サークルの活動を通して、「ママ」であることの幸せ以上に、悩みを抱えるお母さんたちが多くことに気付かされ、二人で「子育て応援カフェ LOCO」を立ち上げました。立ち上げに当たっては、同じ悩みを抱える同世代のお母さん方へのアンケートを実施することで、単なる乳幼児を連れていけるカフェではなく、子育て中のお母さんが本当に求めているサービスや設備を備えたスペースを実現しました。そうしたハードの充実

に加えて、午前中は毎日、ベビーヨガなどの各種講座やものづくりのワークショップ、様々な専門家による子育て相談も行っています。さらに、LOCOの一番の特徴となっているのは、働きたいママの第一歩を支援する場となっていることです。お母さんたちのハンドメイドアイテムの委託販売や講座の講師としての雇用など、子育てが落ち着いた後の人生について考えていただける機会を生み出しています。

さらにこうした再就業に繋がる動きを促進していくために2016年からはじまったのが



ママ支援

Profile

【LOCO】2015年5月に長浜市で宮本麻里さん、桐畑裕子さんが立ち上げる。月、火、水、金曜日の10:00-15:00オープン。

子育て応援カフェ LOCO

滋賀県長浜市元浜町15-6
<http://www.locoenjoythemommylife.com/>

- 講師 ママを講座の講師として雇用40人
- スタッフ 時短パート2人、有償ボランティア4人
- その他 ハンドメイド商品委託販売 (作家11人より受託中)

「JOB LOCO」です。滋賀県のマザーズジョブステーションとも連携した、職業相談、就労支援を長浜でも提供するための活動で、キャリアカウンセラーによる個別的就労相談や創業塾の入口となる仕組みづくりにも取り組み始めました。今後はLOCOでの支援メニューを更に充実させ、各種講座だけでなく、起業を目指すお母さんのためのコミュニティ作りや、長浜市と連携した保育園の情報提供など、地域のお母さんたちが次の一歩を踏み出すための選択肢を、LOCOが広げていければと思います。



女性が選ぶ
活躍の舞台

日々の努力が未来に様々な可能性をもたらす その確信こそ、やりがい

東洋紡株式会社総合研究所 檜垣綾乃 さん



【檜垣さん】大阪府出身。大学時代は農学部で森林科学を学び、大学院を経て2014年に東洋紡入社。



Data

東洋紡株式会社総合研究所

滋賀県大津市堅田2-1-1

077-571-0001

<http://www.toyobo.co.jp/>

職員数 748人(男性445人、女性303人)

業種 研究開発

- 女性活躍推進認証企業
(二つ星企業滋賀県27認証第13号)
- 当社の持つコア技術、技術ストックを基に高機能製品の開発を通して21世紀の生活文化を担う魅力ある会社を目指しています。

世界の水環境を変えていく仕事

これからの社会や環境に起こりうる変化を想定しながら、必要になるものを考えていく、それが東洋紡総合研究所コーポレート研究部門の役割です。人々の健康や命の問題につながる「安全な飲料水の確保」もテーマのひとつで、私は水処理に関する「膜」の基礎研究に携わっています。水不足の解消など大きく期待される分野ですが、まったく新しいものをつくろうという視点で取り組みを進めているため、出口が遠いことも確か。でも、この研究がいつか世の中の役に立つと思うと、おのずとやる気もわいてきます。

実験してデータを取ることにについては大学でもやってきたことですが、会

社として取り組んでいる以上、最終的には売れる製品にしなければなりません。モノとして完成し、みんなの役に立つことで初めて研究の意味が出てくることが社会人になって学びました。

男女ではなく個性を活かす仕事

仕事に女性ならではの視点や考え方が求められていることは、社会的な動きとして感じています。ひとつのことをじっくり考えたり、地道にデータを集めて評価したりまとめたりすることは個人的には得意としていますが、それが女性ならではのものであるとは思っていません。男性だから、女性だからではなく、「私」を活かしてくれる職場だと思っています。

母の影響で理系に

全国的にみると研究職に就く女性はまだまだ少ないようですが、個人的には教育の影響だと思っています。子どものころのおもちゃをみても男児向けは工学的ですからね。うちは二人姉妹ですが、母が科学好きで、テレビのサイエンス番組をいつも「面白い」と言いながらいっしょに観てくれた、それが理系への入り口になりました。受験や進路を考える時期と重なった90年代は、とくに環境問題への警鐘が鳴り響いて

いた時代でしたので、やはり社会の役に立ちたいという思いから森林科学科への進学を選びました。水や大気などの環境保全に果たす森林の役割を学ぶことから、林業資源を利用した生分解性プラスチックの研究まで、理系ならではの面白さがそこに盛り込まれていました。

ライフイベントと向き合いつつ スキルアップを目指す

いまは自分のスキルを広げて先輩のように仕事ができようになりたいという思いでいっぱいです。一方では、結婚も間近ですし、子どももほしいと思っています。一時的には仕事も停滞するでしょうから、今のうちにいろんなことを吸収しておくつもりです。産まれたら育休をはじめとした制度も利用させてもらって、小学生、中学生と子どもの成長に応じて、また現在のように仕事に集中できるようにしていきたいと、パートナーとも話し合っています。

これからはますます女性が働きやすい環境になっていくと思います。チャンスもたくさんめぐってくるはずですから、それをつかもうと努力し、そのたびに成長していける研究員を目指します。



東洋紡株式会社総合研究所



女性が活躍する
雇用環境

女性だから諦めるのではなく、 女性だから出来ることがある

たち建設株式会社

桐畑絵里さん



【桐畑さん】滋賀県甲賀市出身。大学では土木工学を専攻し、2003年たち建設株式会社入社。現場監督を務める3児の母。

Data

たち建設株式会社

滋賀県栗東市六地蔵 1103-2
077-552-0767(本社)
<http://www.tachi-kk.co.jp/>

職員数 53人(男性41人、女性12人)

業種 建設業

- 女性活躍推進認定企業
(二つ星企業滋賀県27認証第17号)
- くるみん認定企業
- 女性社員の多い建設会社です



地図に残る仕事をしたい

将来の夢は娘達に「この橋は私が造った」と言えるようになること。この業界に入って13年あまり。これまで、この業界に入った理由を聞かれると、「地図に残る仕事がしたい」と話してきました。

そんな私も、最初から土木の仕事に就こうと考えていたわけではありません。小さい頃はケーキ屋さんやピアニストになりたいと考える時期もありました。しかし、中学時には漠然と土木や建築に関わる仕事がしたいと考えてようになっていました。不動産会社で緑を大切にしたい街づくりや開発に従事していた父の「自分も土木や建築の仕事がしてみたいか」という言葉に、影響されたように思います。そして、高校の文理選択では理系を選択。大学進学でも、そのまま理数系を選択し、建築と土木とで悩んだ末に、私達の生活基盤を担う土木のスケールの大きさに魅了され、土木の道を選択しました。大学時代は都市・地域計画を研究し、住民参加のまちづくりなどソフトの面からも街のあり方を学びました。

そして、大学を卒業すると、念願がかなない地元滋賀県の建設会社、たち建設に勤めることになりました。

変わる風土、変える気概

入社当時の建設業は、今以上に女性が少なく、周囲から「どうして建設業界に入ったのか」と聞かれることも多かったように思います。たち建設でも私が二人目の女性技術職でした。逆にその珍しさもあってか、現場や取引先から名前を早く覚えていただけることもありました。

それでも、周りに男性が多いからと言って気兼ねするだとか、打ち解けられないということはありませんでした。高校で理系を選択した時も、大学で土木工学を専攻した時も同様の環境でしたが、あまりそのように感じたことがなかったので、自分の性格もあると思います。ただ、職場で相談しやすい、話しやすい雰囲気を上司が作ってくれていたということは、感じています。

当然ながら仕事では成果が求められます。私自身、仕事について人一倍努力もしてきたとも自負しています。妊娠、出産の時期は大変でしたが、「女性はやめてしまう」と思われなくなかったですし、好きな仕事をやめたくないという一生懸命取り組んできました。それらが認められたのか、今は土木課の係長として仕事をしています。

上司の部下への理解と成果を正當に

評価してくれる姿勢、それらを含めて当社は風通しの良い職場だと思っています。

働く姿を通して 仕事の魅力を発信したい

今でも実際の業務ではやはり、体力的に男性が有利と感じることもあります。一方で、積算やCADなど男女に関わらず活躍できる機会や多様な働き方が出来る場面も多々あります。それに、建設業界に女性が少なくても、現場の周辺の住民や、土木の仕事のお客様には女性がいらっやいます。その人たちが話しやすい、その人たちに寄り添った視点を持っているのは強みだと思います。加えてその仕事は私たちの生活基盤そのものを創造している仕事なので絶対にやりがいがあります。

それでも、建設業は男性社会というイメージは未だ根強く、これから建設業界を志望する女性の中には躊躇している方もいるかと思っています。だからこそ私は、女性でも活躍できる場所を見つけれ、大きな夢を実現できる環境だと言うことを身をもって発信していきたいです。ぜひ、この大きな「ものづくり」の世界の魅力を感じてください。

出来ることを当たり前にする
お互いを思いやる家族へ県内製造業勤務
志水宗人さん大阪府出身。2年間紡績業に従事
した後、現在勤務している製造業
の会社に転職。アインズ株式会社
志水美保さん滋賀県東近江市出身。デザイナーと
してアインズ株式会社に入社。二人
の子どもを出産した後も働き続ける。

滋賀県東近江市で二人の娘と暮らす志水夫妻。交代勤務で働く宗人さんと、出産後もフルタイムで働く美保さん。二人の対談を通して、共働きで活躍する夫婦の現状をみつめ、家族円満のヒントを探ります！

働く母親の姿を見て育った二人

宗人さん(以下、宗人) お互いに子どもの頃の家庭環境が似ていたこともあり、結婚後女性が家庭に入るといった感覚は特にありませんでした。むしろ、彼女には好きなことを続けてほしいし、二人に何かあった時のためにもお互いが仕事をするのが当たり前という認識でした。

美保さん(以下、美保) 私はデザイナーを志望して会社に入社し、やりがいも感じていたので専業主婦になる気はなかったですね。私の母は女手ひとつで私と兄を育ててくれた背景がありますので、母が育児にとっても協力的だったということも私が今仕事を続けられている要因の一つです。

お互いが出来ることを当たり前にする

美保 今はフルタイムで働けているのはやはり夫の協力があってこそですね。今は家事の取り合いになるくらい

で、仕事が遅い私に代わって、平日は娘二人の送迎からご飯の用意まで任せきりなほどです。

宗人 私は一人暮らしの経験があったので家事に対する抵抗はほとんどありませんでした。それでも結婚後は彼女に任せきりになっていたのですが、子どもが出来て自分の時間もなくなり、育児をする彼女の姿を見て自然と家事に参加するようになっていました。物欲のない彼女を驚かすために焼いたパースデーケーキ作りが今思うと一番の転機だったような気がします。

美保 家事の仕方、例えば洗濯物のたたみ方など気になることは少しずつ出てくるのですが、そうした些細なことを気にするのではなく、私ができないことをやってくれることに対していつも感謝の気持ちを感じています。日々の不満を差し引いても二人で暮らせていることが楽しいと思えるから、お互いがお互いのサポートをできているのだと思います。

帰りたいと思える家庭を築きたい

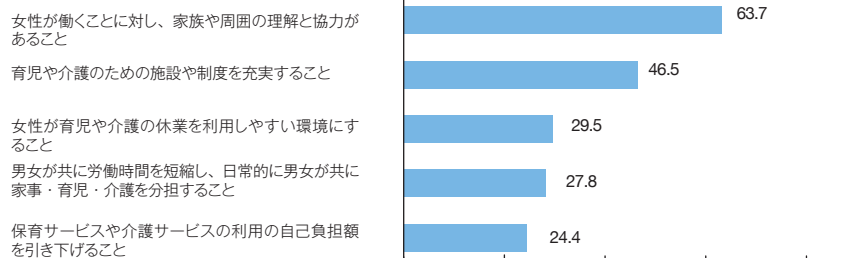
美保 私がやりたいことを出来ているのは、頼ることを覚えたから。それは育児と一緒にしてくれる母や夫であり、忙しい私をみて家事を手伝ってくれる二人の娘たちです。子どもたちには与えられるだけでなく人のために働ける大人に成長して欲しいです。

宗人 子どもにも彼女にも自分の思いを押し付けるのではなく、「やりたい」という気持ちを尊重し、それを応援したいです。人は社会とのつながりの中で成長していきますので、様々な体験を通して自立した価値観をもった大人になればそれが一番です。そんな家族が毎日家に帰りたいと思えるような家庭を作るのが私の役目です。

美保 お互いの趣味に口を出したり、日々我慢を積み重ねるのではなく、普通のことが当たり前に行ける幸せをこれからも積み重ねて行きたいと思っています。

女性が仕事を続けるために必要なこと (上位5項目・滋賀県)

女性が仕事を続けるためには、女性が働くことへの周囲の理解や、育児や介護のための制度の充実が求められています。



資料：平成26年度 男女共同参画社会づくりに向けた県民意識調査(滋賀県)

宗人さんも積極的に書いていた
保育園の先生との連絡帳



女性が活躍する
雇用環境

大規模リニューアルを 女性営業職としてサポート

綾羽株式会社 A・SQUARE 管理室 小坂三佳 さん



【小坂さん】広島県出身。新卒でアヤハ不動産株式会社に入社。8年目にアヤハグループのショッピングセンター、エスクエアの運営管理を行うA・SQUARE管理室へ赴任。



Data

綾羽株式会社 A・SQUARE 管理室

草津市西渋川1-23-1

077-561-6565

<http://www.ayaha.co.jp/asq/>

室員 9人(男性6人、女性3人)

業務 エスクエアの運営管理

○『さあ！新しいキメキが待ついつもの広場へ』を合言葉に、さらに便利で楽しい施設に生まれ変わります。

女性の視点で 大規模リニューアルを支える

アヤハ不動産からA・SQUARE管理室に異動となり、およそ一年が過ぎました。現在、開業20周年を機に過去最大のリニューアルを行っており、2016年秋にはセンターフードヴィレッジ棟の新築を含む第一期工事が完了しました。2017年夏のグランドオープンに向け、新たな建物の建設工事と新規テナント店舗の誘致も本格化しています。テナントの誘致に関してはチームで会議を行い、お客様のニーズをもとに候補の事業者を絞り込んで面談の申し入れを行います。まずエスクエアの魅力を伝え、店舗の配置や賃料についてのプランを提案するのですが、双方の思いをマッチさせることは難しいですが、それゆえにやりがいも感じています。面談相手の大半は男性ですが、女性ならではの視点を活かして、より良い提案ができるよう心掛けています。

地域とのつながりを守ることも 大切な仕事のひとつ

テナント誘致の一方で、既存店舗の営業サポートや毎週開催するイベントの企画運営も大切な仕事のひとつです。

また、ショッピングセンターから地域を元気にしていこうといった視点も大事にしています。イベントは、4月には花壇づくり、7月は七夕の飾り付けなどと、一年を通じて内容も盛りだくさん。地域密着型のショッピングセンターとして、イベントの多くは地元にお住まいの方々に参加いただけるよう工夫しています。例えばクリスマスのイベントなら、地域の幼稚園や子ども会を訪ねて、ペットボトルをリサイクルしたオーナメントづくりをお願いします。オープニングイベントでは、子どもたちと一緒に飾りつけをし、共に完成を喜びます。後日来店した子どもたちが「これ、みんなで作ったんだよ!」と誇らしい笑顔で

ご家族に話す姿を目にしたときは、本当にうれしい気持ちになります。

このほか、町内会をはじめ地域の様々な団体やグループとふれあう機会が多いこともこの仕事の魅力であり喜びといえます。

子育て中の私だからできること

このようにショッピングセンターとお客様との新しい関係を築き深めていくことが私たちの役割です。この職種に女性が就くのは私が初めてです。前職のアヤハ不動産では新築とリフォームの営業事務、そして総務を経験。在籍中には宅地建物取引士の資格も取得しました。異動により、この職種に就いたのもそれまでの経験が活かせるということだけでなく、なによりも私がお客様の立場に近い30代、子育て世代である事が大きかったのだと思います。

子育て中ゆえに、時間にも制約があります。その私がこの職場に配置されたということに、「新しい風」を巻き起こそうとする会社の挑戦の意思や期待を確かに感じています。

今、私が働いているのは上司や同僚の助けがあるなど、職場がとても働きやすい環境だからというのがありますし、仕事が好きだと言う私の思いをパートナーが尊重して支えてくれていることもあります。だからこそ、後に続く女性社員のためにも、現在の業務を全うし、期待に応えたいと考えています。



クリスマス演出の飾り付け



子どもたちと花壇づくり



再チャレンジ

看護師として15年ぶりに復職 好きな仕事をあきらめないで

社会福祉法人 恩賜財団 済生会滋賀県病院 **安間順子** さん



【安間さん】大阪府出身。看護学校卒業後、総合病院に6年間勤務。夫の転勤をきっかけに離職し、15年ぶりに滋賀で復職。現在は内視鏡センターの主任看護師。

Data

社会福祉法人 恩賜財団 済生会滋賀県病院

滋賀県栗東市大橋2丁目4-1

077-552-1221

<http://www.saiseikai-shiga.jp/>

職員数 888人(男性252人、女性636人)

業種 総合病院

- 70年の歴史のある栗東地域の総合病院
- 平成25年には院内保育施設を設置



人とのかかわりを求めて看護師に

この仕事を選んだのは、子どものころから人と接することが好きだったこともあり、たくさんの人に関わることができる考えたからです。何かしら手に職はつけておきたいという思いもありました。

整形外科病棟に勤務して6年がたったころに結婚が決まりました。夫は転勤のある仕事をしており、すぐに東京へ移ることになったのです。いつか復職のチャンスもあるだろうと決意し、ついていくことにしました。その後も2年に一度のペースで転勤を繰り返すなか、3人の子どものにも恵まれました。人づきあいを好む性格のおかげでしょうか、幼稚園や学校ではPTAを経験させていただくことも多く、引っ越す先々で色んなおつきあいをさせていただきました。

社会とのかかわりを持つことができ、ありがたく思う反面、復職を考える暇もないほどにぎやかな生活が続きました。

夫の理解と協力を得て復職

幾度目かの夫の転勤で4年間過ごした香港から滋賀へ移ったのは、末の子が小学5年生になり、家事も少し落ち着いたころのことです。引っ越し先の街の様子をうかがうべく、いつものように近隣を歩

いて回りました。すると、偶然にも滋賀県の看護協会にたどり着いたのです。働いていたころへの懐かしさも手伝い、自宅に戻ってホームページを覗いてみました。目に留まったのが離職中の看護師に向けた再就職セミナーでした。今の医療現場はどうなっているのかといった興味もわきましたので、参加してみることにしたのです。

15年のブランクながら、看護の基本に大きく変わるところはなく、これならやれるかもと思いました。早速夫と話し合いをしたところ、次からは単身赴任すればすむことだからと背中を押してくれたのです。上の子どもたちは高校受験も間近、ここに残ったほうが落ち着いて勉強できるだろうという配慮もそこにありました。

年下の先輩たちに 助けを借りながら 常勤、そして主任看護師へ

現在勤務している滋賀県病院はセミナーの実習が行われたことをきっかけにお声がけいただき、夜勤のないパートでの勤務となりました。

術式は高度化しており、患者さんの回復も早く、以前より楽になったのでは思ったほどです。一方、手続きは増え、電子カルテには少し苦労しました。周りを

見ると大半の看護師は20代。でも、同じ仕事を何度聞いても嫌な顔することなく、誰もが気さくに応援してくれました。さりげなく様子をうかがってくれる病院側の配慮も嬉しく思いました。

常勤へのステップアップを目指し、3年前に内視鏡センターへ異動し、2年間勉強して今年、内視鏡検査技師の試験にチャレンジし資格を取得しました。今は、内視鏡センターの主任看護師として日々、患者さんが安心して検査が受けられる様にお手伝いしています。上の二人は大学生となり、子育ても間もなく終了です。チャレンジしたくてもブランクの長さだけ消極的になる人もいるかもしれませんが、でも好きな仕事ならなんとかなるのではと思います。ぜひ勇気をもって一歩を踏み出してみてください。





多彩な働き方

仕事と家庭の両立 会社の応援があって実現した在宅勤務

株式会社 日吉

西村亜智 さん



【西村さん】三重県出身。2000年に入社、米国での生活経験を活かし海外事業部門で活躍。引越しを機に2013年から在宅勤務。

Data

株式会社 日吉

滋賀県近江八幡市北之庄町908番地(本社)
0748-32-5111(代)
<http://www.hiyoshi-es.co.jp/>

職員数 290人(男性209人、女性81人)

業種 環境測定分析、施設維持管理、
薬品販売、廃棄物処理 他

- 女性活躍推進認証企業
(二つ星企業滋賀県27認証第3号)
- くるみん認定企業



日吉に入ることで見つけた適性

父の転勤についていき小学6年生から4年半、アメリカで暮らしました。日常レベルの会話はできるようになりましたが、英語に興味があったわけはありませんでしたので、帰国後は農学部に進学。そこで分析の仕事に興味をわき、専門学校を経て日吉に入社しました。

しかしながら、日吉では営業や広報の仕事をする事になりました。当時日吉は、一年目の研修期間にすべての部署を経験するのですが、その期間に分析よりも対外的な折衝等の仕事や、広報の面白さに目覚めたためです。そうして、技術部コンサル課で営業に近い活動をしながら、ホームページといった広報物の制作に携わりました。新たな取り組みとして始めた水質分析の通販サイトは、女性目線の提案も取り入れられ、営業範囲を全国へと広げたのみならず、BtoBの事業領域をB to Cに広げる予想外の反響をもたらしてくれました。

同時に、当社は80年代から国際貢献を続けており、常時海外研修生を受け入れていましたので語学スキルを買われ社内通訳をしていましたが、ア

ジア圏との取引が本格化した2006年には新しく設立された海外事業企画室に配属となりました。

引越しを機に在宅勤務へ

海外事業企画室に配属されてからの2年間は、ちょうど一人目の子どもが3歳となり、時短勤務を終える時期と重なりましたが、自宅も近く、会社も子育てを応援してくれましたので、仕事と家庭のバランスをうまくとることができました。

しかし、夫が専業農家となり、そのため新しく建てた家へ引っ越した2009年からは春秋の繁忙期をはじめ余暇は農業の手伝いをするように。2010年には二人目の子どもも生まれました。一方、通勤時間は片道5分から1時間に延び、海外とのやり取りは時差も伴うため、このままでは仕事と家庭の両立は困難だと思い、2013年に退職を願い出ました。

すると継続できる可能性を探ろうと会社が配慮してくれ、試験的に在宅勤務を始めることになったのです。会社のサーバーにログインするための通信環境を整えていただき、日ごろの業務は海外とのやり取りを含めビデオ

チャットで行うようになりました。資料の受け渡しや孤立への配慮から週に一度は会議などに合わせて出社しますが、普段は定時に合わせてすべて自宅で仕事をしています。

現在は英語圏の 海外法人窓口として

昨年からは日常業務に加え、日吉インディアの窓口として、現地スタッフと本社の間で働いています。こちらの計画や意向を示しながら業務の進捗を管理したり、現地の皆さんとともに営業上の課題や業務改善について考えたり、会社として育っていく喜びを、国境を越えて分かち合う毎日です。子どもの成長など、家庭の環境が整えば、いずれは海外出張にも出かけたかと考えています。このように、やりがいを感じながら日々過ごすことができるのも会社に理解があったからこそと感謝しています。

在宅勤務は活躍できる機会を広げる手段のひとつ。職種によって向き不向きもあるでしょうが、働き方の可能性を広げます。経営者の皆さんにとっては検討の価値があると思います。



女性リーダー
が変える

短時間で結果を出す！ 改善提案を通じてキャリアアップを実現

株式会社 叶 匠寿庵 小川かずみさん



【小川さん】滋賀県大津市出身。2002年に短期アルバイトで叶 匠寿庵へ。職場環境の改善提案を評価され契約社員、そして正社員へ。現在、生産部 品質管理課課長。

Data

株式会社 叶 匠寿庵

滋賀県大津市大石龍門4-2-1
077-546-3477(代)
<https://www.kanou.com/>

職員数 620人(男性155人、女性465人)

業 種 和洋菓子の製造・販売

- 女性活躍推進認証企業
(一つ星企業滋賀県27認証第6号)
- 6万3千坪の里山(寿長生の郷)の中で和菓子を製造・販売。梅や柚子などを植え、農工ひとつの菓子づくりを目指す。



子どもの中学進学をきっかけに

叶 匠寿庵でアルバイトを始める以前は製造工場で夜勤をしていました。仕事中は子どもを実家などに預けていたのですが、中学に上がり、受験を含めて大変な時期になるので、日勤の叶 匠寿庵のアルバイトをすることにしました。その後季節菓子のラインに配属されて3年ほど働いたころ、工場長から契約社員で働いてみないかとお声がけをいただきました。当時の私は「アルバイトにすぎませんでしたが、「もっと働きやすくなるのに」と考え(会社の利益が増えれば、時給も上がるとも思っていました)、現場の管理者に改善提案をしていたのです。前職の製造工場で厳格な生産管理など違う労働環境を経験していたことも役に立ちました。そして契約社員となり、ラインのひとつを任せいただくことになりました。

アルバイトから契約社員へ、 そして正社員へ

いざ仕事を始めると「なぜ元アルバイトが管理を？」と、ちょっとしたひずみも生まれました。でも、もっと快適に働ける職場にしたい、だから一緒に頑張ってもらいたいと懸命に話すと少しずつ

つ心を開いてくれて、いろんな声を上げていただけるようになったのです。業務の合理化や職場の快適化など、いろんなことが少しずつ形になっていきました。ライン作業者の人員削減もそのひとつ。分業を多能工化し、合理的に組み合わせることで6人を要したライン人員数を3人でこなせるようになったのです。正社員として工場全体のことを考えてほしいと会社からお声がけをいただいたのもそのころです。

理解を求めて 夫と話し合いを重ねる

夫は正社員になる必要があるのかと考えていたため、何度も話し合いをしました。働くことに喜びを見出している私を見て「それを辞めてまで家にいてほしくない」と理解、協力してくれるように。正社員になると契約社員の勤務管理や、製造に携わる人数の調整を行うようになりました。とはいえ季節菓子しか知りませんでしたので、まずすべてのラインに入って一緒に働き、同じ苦労を経験しながら仕事を覚えさせました。その後、社内各部署の人間が集まって商品開発を行う営業企画部に配属され、一通りの仕事を学んだあと、新たに立ち上がった生産部生産管理課の課長を拝命しました。引き続

き課長として製造一課に戻り、現在は品質管理課課長の立場で、より美味しくかつ安全なものをお届けするための改善策について日々考えを巡らせています。

今後は女性社員が さらに活躍できる会社へ

管理職の役割のひとつは人を育てること。アルバイトから経験してきたいろんな立場を振り返りつつ、一人ひとりに声をかけて話を聞けるような努力を心がけています。潜在的な能力を引き出したりレベルを上げたりすることは男女に関係なく重要なこと。女性の和菓子職人さんを育てることも目標のひとつです。誰もが活躍できる場を広げ、そこに女性も含まれるという環境にできればと考えています。



人気の銘菓 あも



女性リーダー
が変える

一緒に仕事をしてよかったと思っ てもらえるグループ長を目指して

株式会社関西アーバン銀行 古川純子さん



【古川さん】滋賀県野洲市出身。1998年にびわこ銀行(現関西アーバン銀行)入行。二度の出産、育休を経て現在、甲西駅前支店業務グループ長。

Data

株式会社関西アーバン銀行

大阪市中央区西心斎橋1丁目2番4号

06-6281-7000(代)

<http://www.kansaiurban.co.jp/>

職員数 2,546人(男性1,603人、女性943人)

業種 銀行業

- 女性活躍推進認証企業
(二つ星企業滋賀県27認証第9号)
- 平成27年度厚生労働省「均等・両立推進企業表彰」における「大阪労働局長優良賞」の受賞
※「均等推進企業部門」「ファミリー・フレンドリー企業部門」の両部門で受賞



キャリアアップを目指して

幼い頃から銀行で働くことが夢で、入行前から結婚、出産を経ても仕事を続けたいと考えていました。1998年に入行した後は、一緒に働く先輩方がいきいきと働いていることに刺激を受け、グループ長を目指したいと考えるようになりました。そして、仕事に必要なスキルを身につけるとともに、キャリアアップに必要な業務に関する資格は比較的自由な時間があつた单身時代に計画的に取得しました。

また、周囲の方々からの信頼を得られるよう与えられた仕事だけでなく、グループ・支店の組織全体としてのチームワークを意識しながら、日々の業務に取り組むことを心がけていました。

その結果もあつてか、結婚、出産、育休を経て仕事に復帰してから1年後の2009年に業務グループ長を拝命することができました。とは言うものの、銀行全体を見渡すと他のグループ長は年齢もキャリアも上の方ばかり、まして子育て中の私に同様の重責を担えるのか、不安な思いもありました。幸い、職場には気軽に相談出来たり、協力し合ったりできる雰囲気があつたことに加え、新入行員時代から親しくしている仲間や先輩との公私にわたるネットワークもあり、これらが大きな支えとなりました。

日ごろのコミュニケーションを重視

グループ長になって7年、心がけてきたことは、自ら積極的に話しかけることです。とくに部下に対しては、気持ちよく仕事をしてもらうため、困ったことや改善してほしいことはどんな些細なことでも話してほしいと伝えています。部下一人ひとりの気持ちを理解し、臨機応変に対応することが上司である私の役割だと考えているからです。

また、グループの業務効率を上げることも上司である私の大事な役目です。朝礼等による意識付けやスケジュール管理は勿論のこと、事前の役割分担を明確化し、業務の平準化を図っています。加えて銀行全体で、NO残業デーを設定するなど、早帰りにより心身をリフレッシュするための積極的な取り組みも行っています。

私自身、現在も保育園と学童保育のお迎えがあるため、限られた時間の中で仕事をやり遂げるべく最大限の努力と工夫をしていますが、何よりも子育て行員に配慮してくれる職場の空気がありがたいと感じています。

職場の皆が助けてくれる、支えてくれるからこそ、グループ長としての職責を果たすことが出来ていると、いつも感謝の気持ちを持って仕事を進めています。

オンとオフの切り替えをしっかりと

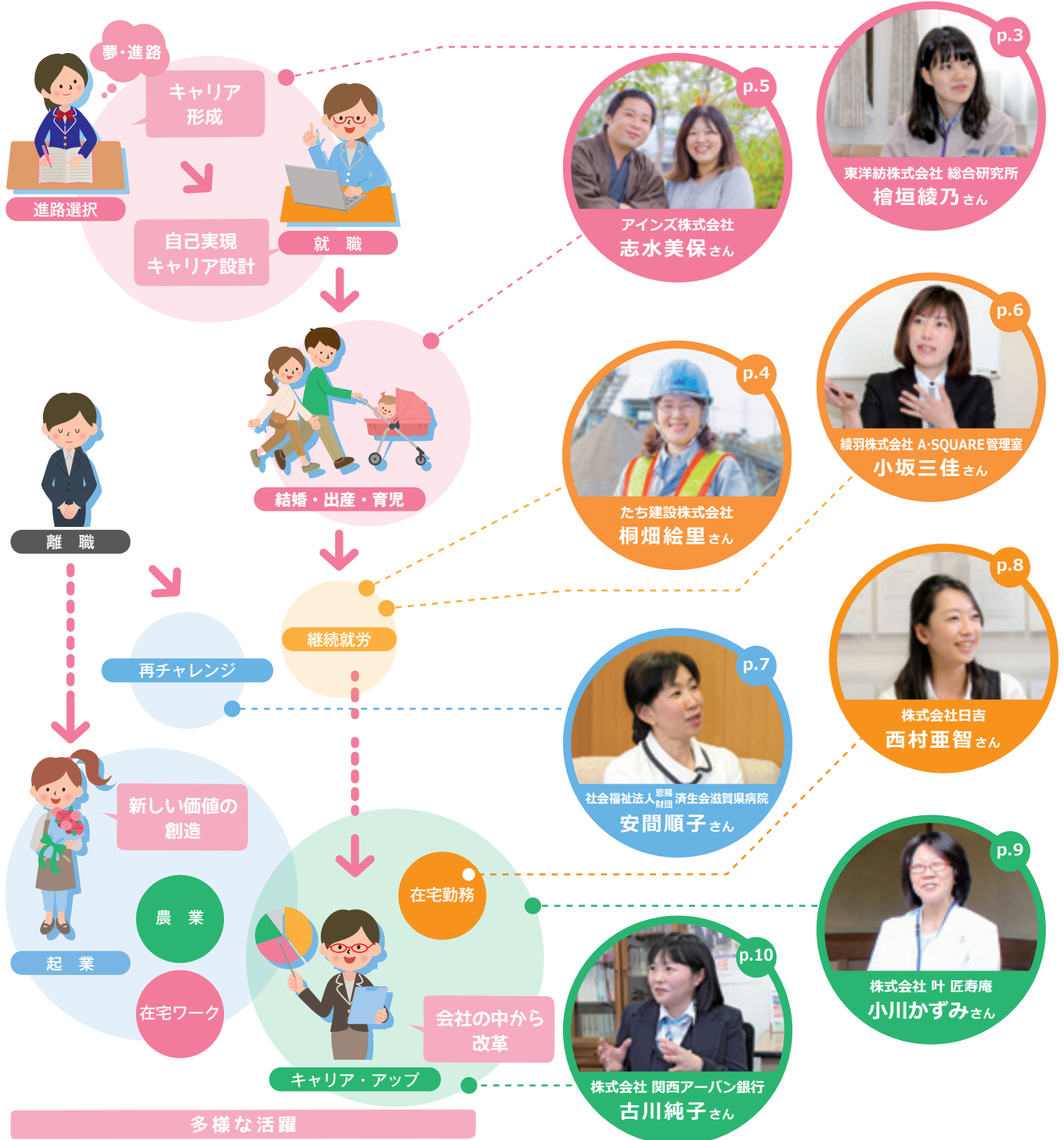
会社を出たあとは、子どものことを最優先に考え、しっかりと向き合うようにし、本を読み聞かせたり、宿題をみたりと、一緒に過ごす時間を大切にしています。また、家事の大半は私がこなしていますが、私が炊事や洗濯、掃除をしているときなどは、夫が積極的に子どもたちの面倒をみてくれるので、とても助かっています。

近頃では4年生になった長女が2歳の弟の面倒を見てくれるようになりました。趣味と言えほどのものはありませんが、日々の子どもの成長が何よりの楽しみです。

夫の休日が日曜日に限られているので、土曜日の夜には家族みんなで日曜日の過ごし方について話し合いを行い、貴重な休日をより有意義に過ごせるよう努めています。充実した休日を過ごすことで、休み明けからは、また新たな気持ちで一生懸命仕事に打ち込むことができます。

これからも、周囲の方々から「一緒に仕事をしてよかった」と思ってもらえるようなグループ長を目指し、そして、公私共に充実した日々を過ごせるよう努力を重ねていきたいと思っています。

それぞれのライフステージで活躍する滋賀の女性たち



カラット
CARAT PJ
滋賀・女性・元気
プロジェクト

それぞれのライフステージで
活躍する滋賀の女性たち

結婚、出産・育児、家族の介護など人生には様々な出来事がある。その向き合い方も
いろんなカタチがあって、ひとつひとつがその人の大事なステージ。

しかし、働く場では制約があることも。その時、応援する環境があれば、あきら
めずに働き続けられます。

滋賀県には、「自分らしさ」を活かして、それぞれのライフステージという舞台で
キラリと輝く女性たちがいます。

お問い合わせ：滋賀県商工観光労働部女性活躍推進課

住所 〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目 1-1

電話 077-528-3771 FAX 077-528-4807 HP <http://www.pref.shiga.lg.jp/c/danjo/>

滋賀県では女性活躍を推進する企業を認証しています。

HP <http://www.pref.shiga.lg.jp/c/danjo/ninshouseido/ninshouseido.html>



※本冊子に掲載している内容は、
平成28年(2016年)12月現在の
ものです。

平成29年(2017年)2月発行